

2. 調査概要

緊急災害派遣および被害状況の把握を目的として、地震発生直後から平成 15 年 6 月 13 日までの期間に実施した現地調査は、6 分野 8 チームに上る。調査メンバー及び調査日程は表 2.1 に示すとおり。また、分野ごとの調査位置と震央の位置を図 2.1 に示す。

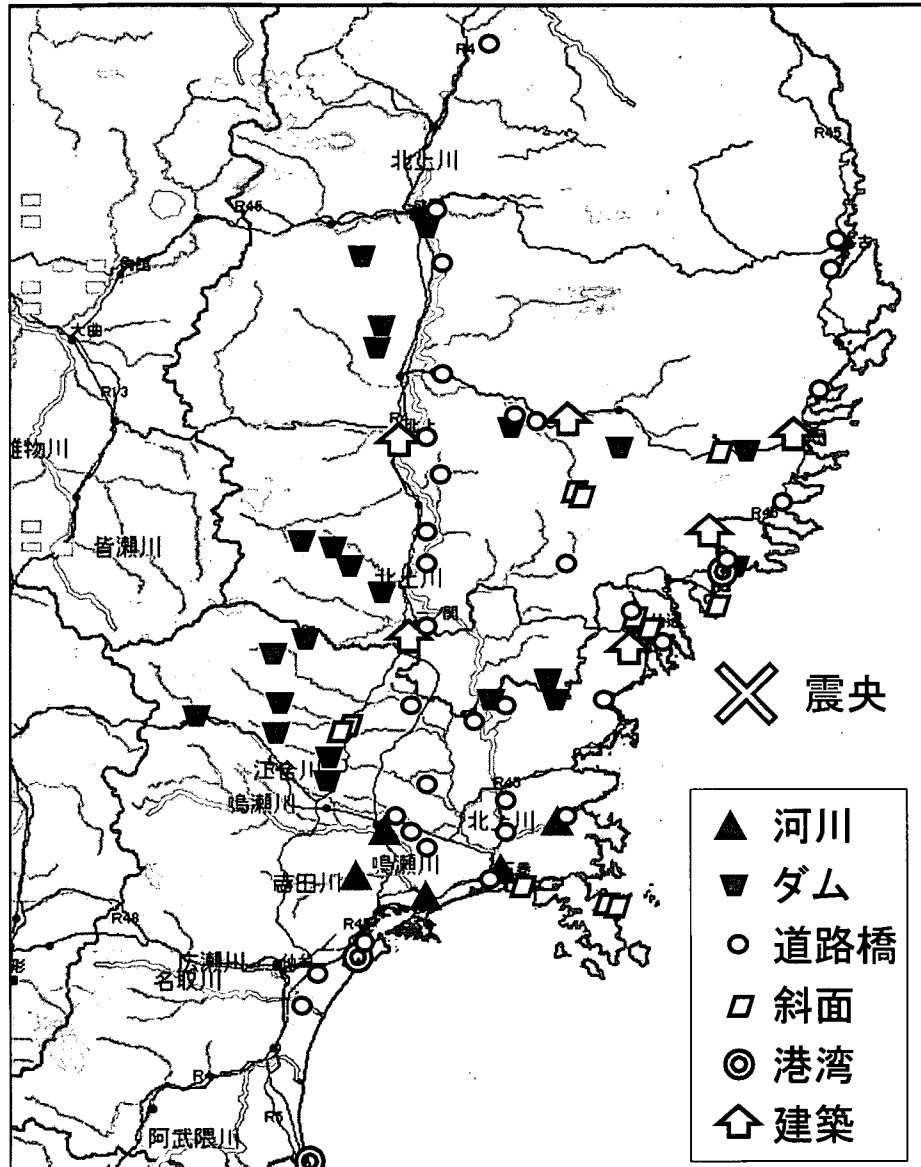


図 2.1 分野別の現地調査位置

表2.1 現地調査等チーム編成 の概要

分野	現地調査等メンバー	日程	目的
河川	国総研(地震防災研究室)松本研究官 (河川研究室)日下部主任研究官 土 研(振動チーム)田村上席研究員, 岡村主任研究員, 石原研究員	6/3~ 6/4	・河川堤防の被害箇所及び周辺地盤の変状調査 ・強震観測所および周辺地盤の調査
ダム	(1) 国総研(ダム研究室)川崎室長、平山主任研究官、稲垣研究官 土 研(ダム構造チーム)佐々木主任研究員、佐藤研究員、中村研究員	6/4~ 6/6	・地震の影響の有無、変状の程度の確認 ・強震観測実施箇所(位置、波形等)の確認 ・各種観測計機器で記録した地震発生前後の計測値の確認
	(2) 国総研(ダム研究室)金銅主任研究官、吉岡研究員 土 研(ダム構造チーム)山口上席研究員、金縄研究員、小堀研究員	6/11~ 6/13	
斜面	砂防 国総研(砂防研究室)寺田室長 土 研(地すべりチーム)石井主任研究員, 森下研究員	5/29~ 5/30	・急傾斜地崩壊危険箇所のうち崩壊 ・落石等の発生箇所の状況調査及び対策の指導、地すべり状況調査
	地質 土 研(地質チーム)倉橋主任研究員、伊藤研究員、山脇交流研究員、三河交流研究員	6/3~ 6/4	
道路橋	国総研(橋梁研究室)廣松研究官 土 研(耐震チーム)運上上席研究員, 遠藤主任研究員, 小林研究員, 西田研究員, 小倉交流研究員, 姫野交流研究員, 矢田部交流研究員 (基礎チーム)白戸研究員, 梅原研究員	6/2~ 6/3	・強い地震動が観測された地域における道路橋の被害及び地震時の挙動の調査
建築	国総研(危機管理センター)上之菌建築災害対策研究官 (建築研究部)飯場建築新技術研究官 建 研(構造研究グループ)斎藤上席研究員、五十田主任研究員	5/28~ 5/30	・建築物の地震被害概要および地震動の得られている地点付近の建築物の被害程度の調査
港湾	国総研(沿岸防災研究室)狩野研究官 港空研(構造振動研究室)菅野室長、小濱研究官、佐藤研究員	5/27~ 5/29	・港湾施設の被害状況把握と地震後対応への技術支援
震後対応	国総研(地震防災研究室)日下部室長、真田主任研究官	6/3~ 6/4	・地震直後の初動の対応に関するヒアリング調査

小計 国総研14名 土研24名 建研2名 港空研3名